

① 小中高生のスマートフォン所有率

過年度比較 (全体)



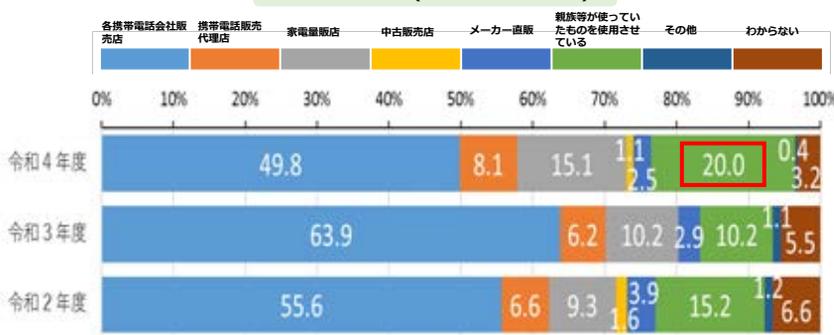
学識別過年度比較



小中高生のスマートフォン所有率は5年連続で増加。特に、小学校高学年は前年度比で7.2ポイント増加しており、早い年代からの利用が進んでいる。

② スマートフォンの購入場所等

過年度比較(小学校低学年)



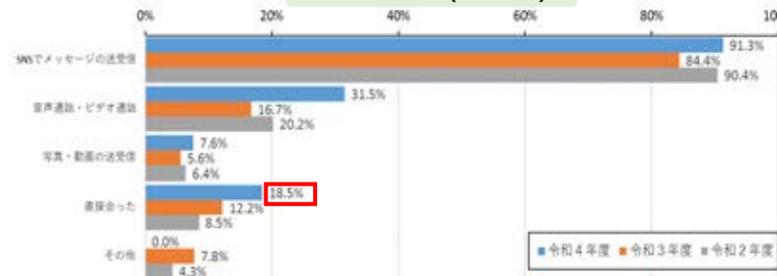
小学校低学年において、親族等が使っていたものを使用させているとの回答が、前年度比で倍増。

こたエール^(※)には
 ・ 親族が使用していたスマホを使わせていたことで、子供が端末に紐づいたクレジットカード情報から高額の課金をしてしまったといった相談も寄せられている。

※東京都の運営する青少年のネット・スマホのトラブル相談窓口

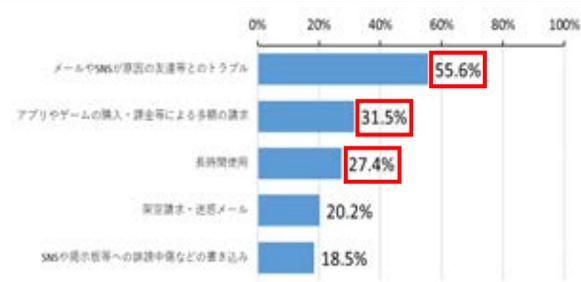
③ SNS等を通じた知らない人とのやりとり

過年度比較(高校生)



SNS等を通じて知らない人とやりとりをしたことがあると回答した高校生の約19%が直接会ったと回答。直接会ったとの回答は、令和2年度から倍増している。

④ スマートフォン利用によるトラブル



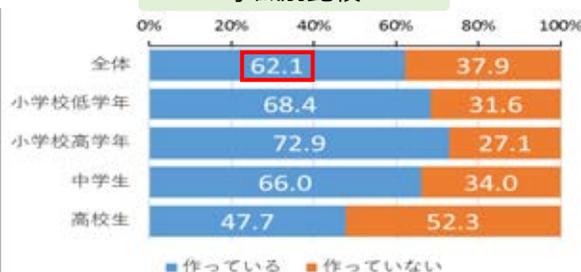
トラブルにあったことがあると回答した小中高生の主なトラブルは以下のとおり

- ・ メールやSNSが原因の友達等とのトラブル
- ・ アプリやゲームの購入・課金等による請求
- ・ 長時間利用

こたエールにも「交友関係」に係る相談が多く寄せられている。

⑤ 家庭におけるルール作りについて

学識別比較



全体の約62%がルール作りをしている反面、年代が上がるにつれてルールを作っていない傾向がみられる。家庭における主なルールは以下のとおり

- ・ 利用する時間や場所
- ・ 困ったときは保護者に相談すること
- ・ 利用する際のマナー（誹謗中傷しない等）